

ミセスの「相続」に関する調査 集計結果

2009年12月

サンケイリビング新聞社

1. 相続についての意識

「相続」について考えるか

- 1 「相続」についての話し合い
- 2 「相続」についての話し合い タイミング
- 3 「相続」についての話し合い 具体的なタイミング
- 1 家族での話し合いは必要か
- 2 家族での話し合いは必要か（理由）
- 3 家族での話し合いに障害になること

2. 相続についての情報

「相続」についての情報収集の経験

情報収集の方法

今後の情報収集

- 1 「相続」について知りたいこと
- 2 「相続」について知りたいこと

3. 相続の経験について

- 1 「相続」の経験
 - 1 誰から相続したか（自分の場合）
 - 2 誰から相続したか（配偶者の場合）
 - 1 相続で困ったこと・大変だったことはあったか
 - 2 相続で困ったこと・大変だったことは
 - 3 相続で困ったこと・大変だったこと（こんな事態に困った！）

4. 生前贈与の経験について

「生前贈与」の経験（自分・配偶者）

- 1 誰から贈与を受けたか（自分の場合）
 - 2 誰から贈与を受けたか（配偶者の場合）
- 子供への「生前贈与」の経験

5. 遺言状について

正式な遺言状作成の経験

遺言について（疑問に思うこと、心配・不安なこと）

1. 相続についての意識

“相続“について「考えたことがある」65.3%。40代以上では7割台に
“相続“について、家族で話し合ったことがある 53.5%
“相続問題が起こる前“に、家族で話し合ったことがある人は全体の約1/4
“相続“について、家族で話すことは「必要だと思う」76.1%
話し合う“必要性”は全体の3/4が感じているが、
「知識がない」「きっかけがない」ことで実行できていない傾向

2. 相続についての情報

“相続“について「情報を集めたことがある」28.7%。40代以上では3割台と多数派ではない
“相続“についての情報は「本や雑誌」「インターネット」から
今後は、“相続“についての情報は「インターネット」で集めたい
“相続“について知りたいことは「相続税について」「手続きについて」

3. 相続の経験について

夫婦どちらかでの“相続”経験者は 39.6%
自身の“相続”は「父」から74.6%、「母」から 33.3%
配偶者の“相続”は「父」から69.1%、「母」から 32.4%
“相続”で困ったこと・大変だったことが「あった」50.5%
“相続”で困った・大変だったのは、「相続の手続きに関すること」58.3%

4. 生前贈与の経験について

夫婦どちらかでの“生前贈与”を受けた経験は 12.6%
自身が受けた“生前贈与”は「父」から63.9%、「母」から 50.0%
配偶者が受けた“生前贈与”は「父」から63.3%、「母」から 33.3%
子供への“生前贈与”経験者は 3.4%

5. 遺言状について

正式な“遺言状”を作ったことが「ある」2.2%

調査目的

全国の既婚女性の相続への意識と、自身とその配偶者の相続の経験について把握する

調査期間

2009年12月17日(木)～2009年12月20日(日)

調査方法

リビング新聞のウェブサイト「えるこみ」でのWebアンケート調査

調査対象者

配偶者のいる女性 集計数: 1,005人

プロフィール

1 年代 (n=1,005) * 平均年齢 43.7歳

	n	%
20代	66	6.6
30代	329	32.7
40代	329	32.7
50代	179	17.8
60代以上	102	10.1
全体	1005	100.0

2 本人 職業 (n=1,005)

	n	%
専業主婦	640	63.7
フルタイムワーク	153	15.2
パート・アルバイトワーク	192	19.1
そのほか	20	2.0
全体	1005	100.0

3 子供の有無 (n=1,005)

	n	%
あり	754	75.0
なし	251	25.0
全体	1005	100.0

4 居住エリア (n=1,005)

	n	%		n	%
北海道	19	1.9	滋賀県	16	1.6
青森県	0	0.0	京都府	29	2.9
岩手県	1	0.1	大阪府	133	13.2
宮城県	21	2.1	兵庫県	141	14.0
秋田県	0	0.0	奈良県	2	0.2
山形県	2	0.2	和歌山県	5	0.5
福島県	3	0.3	鳥取県	1	0.1
茨城県	3	0.3	島根県	0	0.0
栃木県	7	0.7	岡山県	11	1.1
群馬県	3	0.3	広島県	19	1.9
埼玉県	57	5.7	山口県	2	0.2
千葉県	85	8.5	徳島県	2	0.2
東京都	159	15.8	香川県	7	0.7
神奈川県	134	13.3	愛媛県	10	1.0
新潟県	3	0.3	高知県	1	0.1
富山県	0	0.0	福岡県	35	3.5
石川県	6	0.6	佐賀県	1	0.1
福井県	1	0.1	長崎県	2	0.2
山梨県	1	0.1	熊本県	12	1.2
長野県	2	0.2	大分県	1	0.1
岐阜県	2	0.2	宮崎県	1	0.1
静岡県	15	1.5	鹿児島県	4	0.4
愛知県	43	4.3	沖縄県	1	0.1
三重県	2	0.2	全体	1005	100.0

“相続“について「考えたことがある」65.3%。40代以上では7割台に

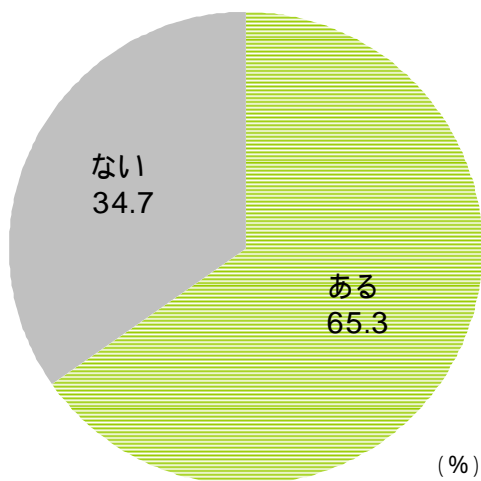
相続について考えたことがあるかを聞いたところ、考えたことが「ある」65.3%、「ない」34.7%となった。

年代別でみると、20代・30代では、相続について考えたことが「ある」人が5割台。40代を境に、相続について考えたことが「ある」人の割合が増える傾向がみられ、40代以上では7割台となった。

全体

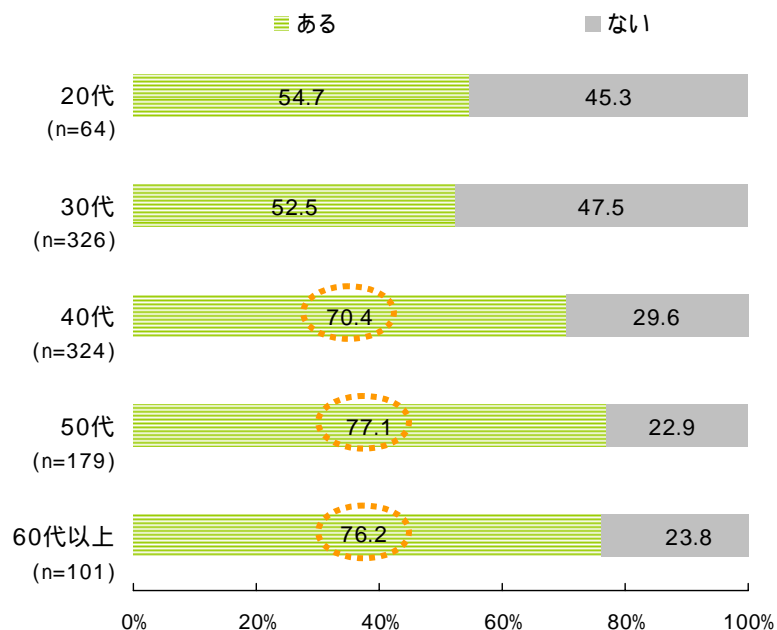
Q. あなたは「相続」について考えたことがありますか？ (SA)

(n=994)



年代別

Q. あなたは「相続」について考えたことがありますか？ (SA)



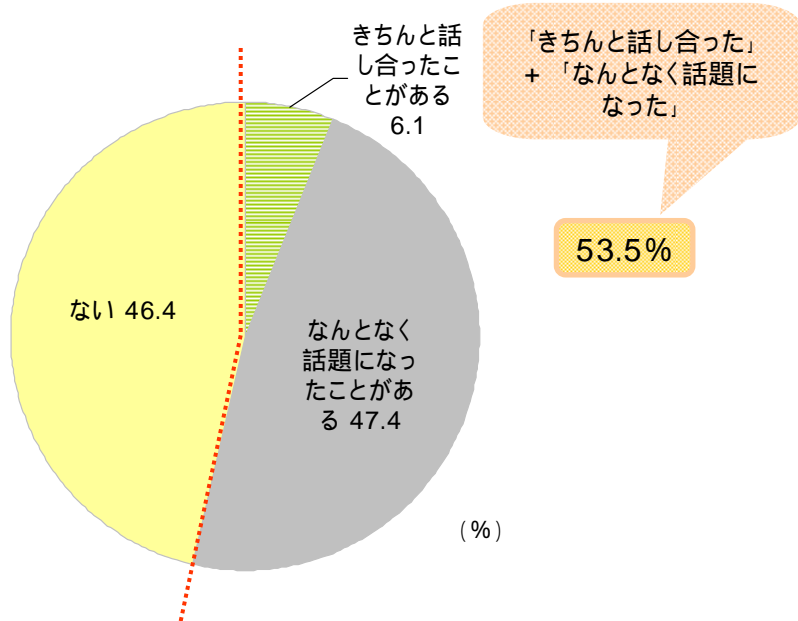
相続について、家族で話し合ったことがある 53.5%

家族で「相続」について話し合ったことがあるかを聞いたところ、「きちんと話し合ったことがある」6.1%、「なんとなく話題になったことがある」47.4%と、話し合ったことがある人は、あわせて53.5%だが、「なんとなく」程度が多い。

年代別で見ると、20代から50代では、家族で話し合ったことがある人は5割台。その中でも「きちんと話しあったことがある」人の割合は1割未満。60代以上になると、家族で話し合ったことがある人は65.6%と、他の年代に比べて高くなるが、「きちんと話しあったことがある」人は、他の年代同様、1割未満となった。

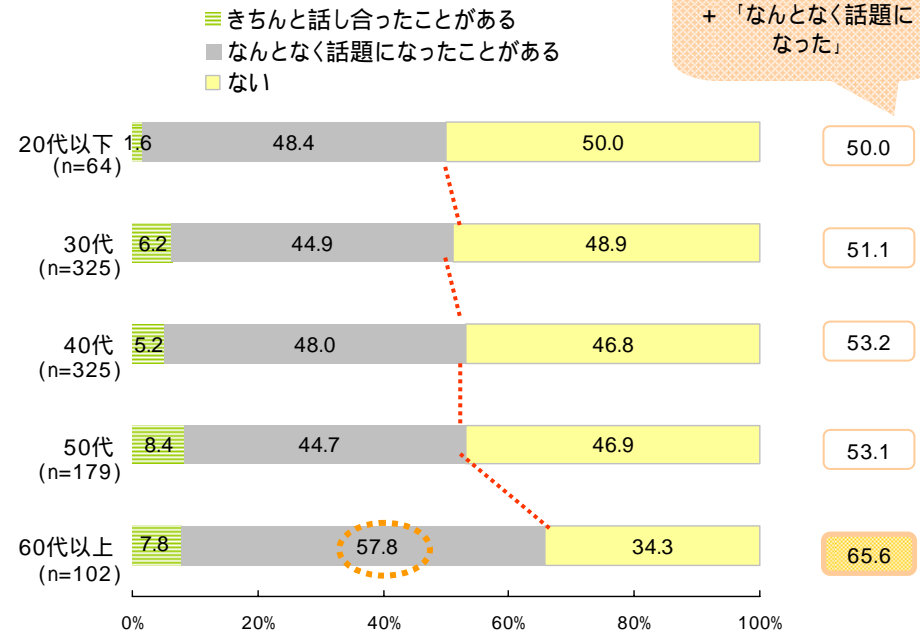
全体

Q. 家族で「相続」について話し合ったことはありますか？ (SA)
(n=995)



年代別

Q. 家族で「相続」について話し合ったことはありますか？ (SA)



「きちんと話し合った」 + 「なんとなく話題になった」

“相続問題が起こる前”に、家族で話し合ったことがある人は全体の約1/4

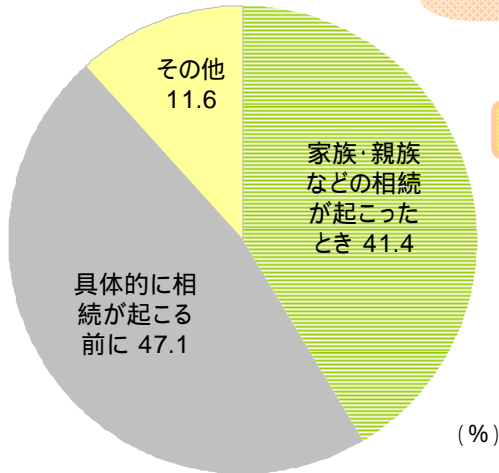
家族で「相続」について話し合ったことがある人に、どんなタイミングで話したかを聞くと、「具体的に相続が起こる前に」47.1%、次いで「家族・親族などの相続が起こったとき」41.4%、「その他」11.6%となった。

年代別でみると、「家族・親族などの相続が起こったとき」では、50代で54.3%と半数以上。「具体的に相続が起こる前に」では、20代で56.3%、60代以上で58.2%と高い。

”相続問題が起こる前に家族で話し合ったことがある”人の全体に占める割合は、24.7%と、全体の約1/4に過ぎない。60代以上では38.2%と、他の年代に比べて10ポイント以上、上回った。

全体

Q. 相続について話したことがある人
 どのタイミングで話しましたか？(SA)
 (n=527)

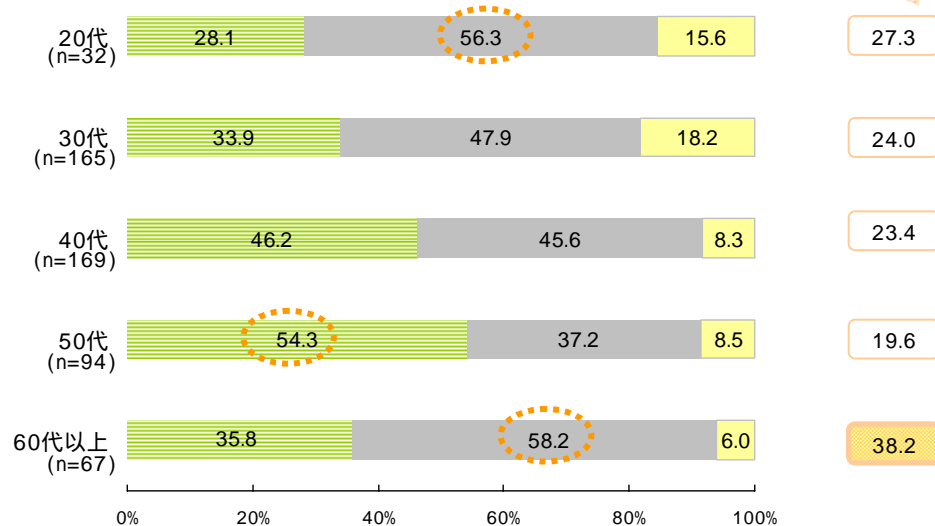


「相続問題が起こる前に」
 「家族で話し合ったことがある」
 人の全体に占める割合
 24.7%

年代別

Q. 相続について話したことがある人
 どのタイミングで話しましたか？(SA)

■ 家族・親族などの相続が起こったとき
 ■ 具体的に相続が起こる前に
 ■ その他



「相続問題が起こる前に」
 「家族で話し合ったことがある」
 人の年代別に占める割合

「家族・親族などの相続が起こったとき」「具体的に相続が起こる前に」のほかにどのようなタイミングで相続について話したか（フリーアンサーから抜粋）

【きちんと話し合った】

自分が病気になったとき（39歳/専業主婦・熊本県）
家を建てると決めたときに（33歳/専業主婦・山口県）
義母の意志で今のうちにきちんと話あっておこうと（31歳/専業主婦・愛媛県）
結婚記念日に遺言書を互いに書きました。（33歳/専業主婦・大阪府）
普通の会話としてさりげなく（61歳/専業主婦・東京都）
主人がアメリカ軍人なので、戦場に行く前に必ず弁護士を通して遺言書を作る。毎年中の内容が変わりないか話しています。（37歳/専業主婦・神奈川県）

【なんとなく話題になった】

自分たちが結婚後、親が再婚しようとしていたので将来をきちんと考えたとき（25歳/専業主婦・埼玉県）
結婚のときに、実家の土地をどうするかなど（30歳/パートアルバイト・兵庫県）
ニュース等で相続の話題が出た時（31歳/専業主婦・大阪府）
他の人の相続の話を知りたりした後（51歳/パートアルバイト・千葉県）
親の介護の話がでたとき（33歳/専業主婦・埼玉県）
会社が倒産したときに（35歳/専業主婦・広島県）
食事をしながら何気なく（35歳/専業主婦・神奈川県）
相続のトラブルの話がTVで放送しており、話題になった。（37歳/その他・京都府）
今度、親の土地に家を建てるのでその話のときに（36歳/その他・山梨県）
長男には実家の土地・家屋を継いでもらおうよ、という話をしたとき次男が僕は？と聞いてきたのでなんとなくそんな話になった（39歳/パートアルバイト・兵庫県）
両親が高齢なので（47歳/専業主婦・神奈川県）
税金のことが話題になったとき（42歳/専業主婦・東京都）
正月など親族が集まった時に具体的ではなく（39歳/パートアルバイト・大阪府）
母の宗派が違うので、父と同じ墓に入りたくないと考えていることを知ったとき（32歳/専業主婦・兵庫県）
今のマンションが老朽化して住めなくなったらどうするか、を話しているときに（61歳/専業主婦・熊本県）
実家の家を継ぐ家族が無く、誰も住まなくなった時どうするのかなぁ・・・と兄弟で話した事がある（45歳/パートアルバイト・兵庫県）

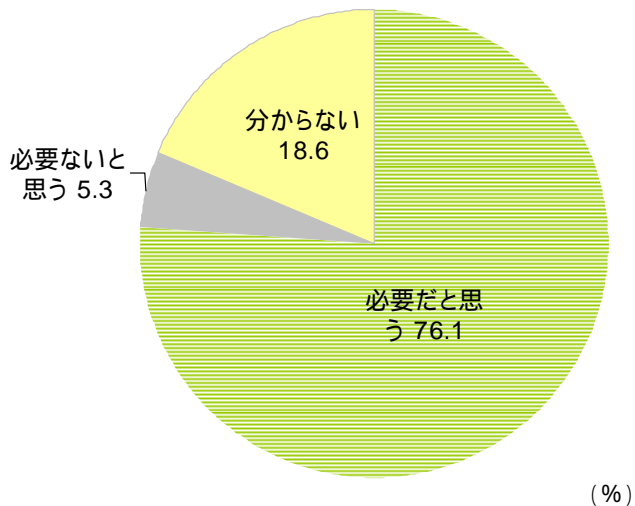
“相続“について、家族で話すことは「必要だと思う」76.1%

「相続」について家族で話すことは必要だと感じるかについて聞いたところ、「必要だと思う」76.1%、「必要ないと思う」5.3%と、必要だと思っている人が圧倒的となった。

年代別でみると、「相続」について家族で話すことは「必要だ」と感じている人は、どの年代においても7割台と高い。また、「必要ない」と感じている人は、年代が高いほど多くなる傾向がみられた。

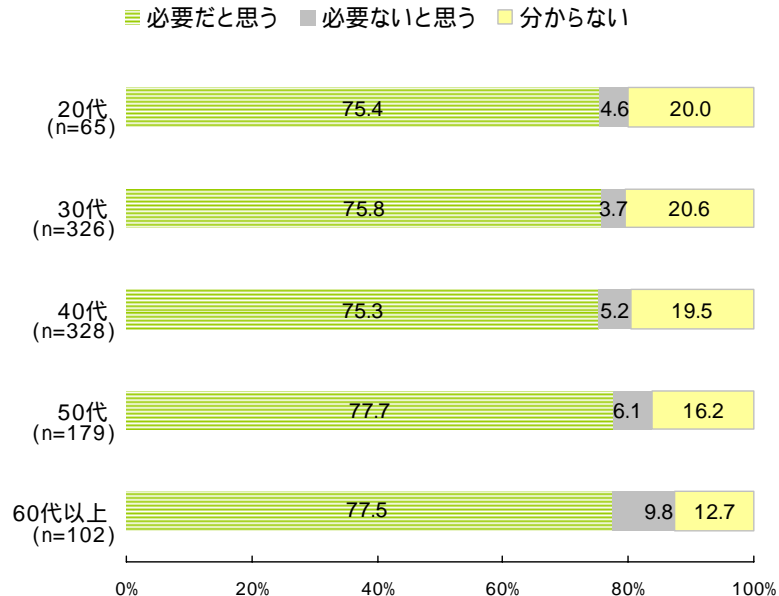
全体

Q. 「相続」について家族で話すことは必要だと感じますか？ (SA)
(n=1000)



年代別

Q. 「相続」について家族で話すことは必要だと感じますか？ (SA)



（フリーアンサーから抜粋）

【必要だと思う】

あとあとめたくないし、どのような手続きや支払う額があるのかとか、家族それぞれが知ってる方がよいと思うから（36歳/専業主婦・愛知県）

あとあと問題が大きくなって、親戚関係など、大切にしてきたものが壊れてしまうのは嫌だから（36歳/専業主婦・千葉県）

いざというときのために話し合いをしていたほうが良いと思う。それぞれの考えが分かり、心構えや準備ができる（28歳/専業主婦・京都府）

いざという時に揉めないように（45歳/専業主婦・神奈川県）

いつその瞬間が訪れかが分からないので、生前から個人の意思を知っておくことは重要だと思うからです（66歳/専業主婦・石川県）

いつ亡くなるか分からないので意思を伝えておかなければならないと思います。その時に本当に大切な人を守れず、下手すれば人間関係でもめてしまふ恐れもあるので、生前に話しておく必要はあると思います（33歳/専業主婦・大阪府）

そういう事態になったときに、残した人の意向や、関係者の考え方を知っていた方が、話を進めやすく、あわてたりしないで済むと思うから（51歳/パート・アルバイト・千葉県）

我が家は再婚同士なので、残された者が後あと嫌な思いをしない為にも、話はもちろん遺言書なども作成しておきたいです（44歳/専業主婦・宮城県）

財産の額が少なくても、法定相続人が複数いる場合、亡くなる前に本人の意思を遺言状にしてきちんと残しておいた方が良い。かってに破棄されたりしないように弁護士や公的な機関などに預けておくことも大事。そのことを相続人全員に報告しておくこともした方が良い。そういうことを怠ると、勝手な解釈をして自分勝手に行動する人が出てくる。お金が関わると人が変わる人も多いのが事実（32歳/専業主婦・愛知県）

【必要ないと思う】

有効に資金運用をして老後自分達の財産を両親が全て自分達の為に使い果たせばよいと考える。子供に残す必要はないと思う（44歳/専業主婦・静岡県）

以前と違い子供に頼れない時代なので、老後は自由に使いたい（69歳・専業主婦・兵庫県）

死亡の時期など予想できないので、その時に法に従い平等にすれば良いと思うから。相続する人・される人が無駄な感情を入れることがもめる原因（47歳/フルタイム・千葉県）

私も夫も現に親の面倒を見ていないので、相続は放棄する(又は相続分ゼロの分割協議をする)予定です。最後まで面倒を見た者が相続すべきものと思っています。そのときになってそういう意思表示をすればいいのであって、この方針を恩着せがましく他の相続予定者に特に説明しておく必要はないと思っています（50歳/専業主婦・埼玉県）

相続するほどの財産がないから（45歳/フルタイム・大阪府）

【わからない】

もめる前に話したほうがいいのかも知れないけど、必要ない気もするから（40歳/専業主婦・東京都）

前もって決められることもあるかもしれないけれど、実際に相続が起きたとき状況や気持ちが変わってしまって結局思い通りにはいかないと思うので（42歳/専業主婦・千葉県）

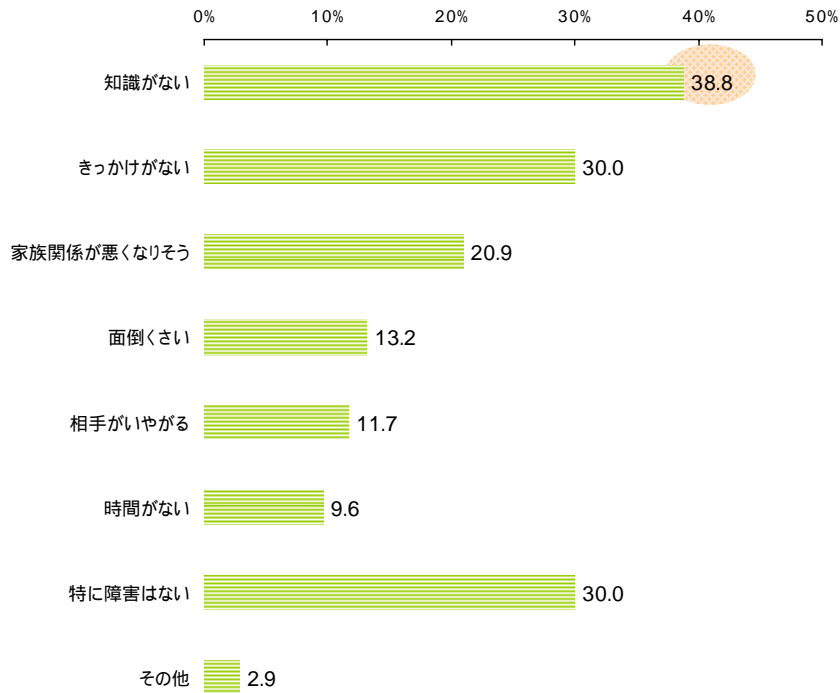
いざという時もめないために話し合っておくことは必要かもしれないが(我が家では特別な資産はないので関係がないが)「親が死ぬことを前提にする内容」なだけに、悪気はなくても当人(親)達がどう感じるかは別問題だと思う（47歳/その他・東京都）

話し合う“必要性”は全体の3/4が感じているが、「知識がない」「きっかけがない」ことで実行できていない傾向

相続について、家族で話すことは「必要だと思う」と回答した人に、相続の話をするとき障害になることを聞くと、「知識がない」38.8%、次いで「きっかけがない」30.0%、「家族関係が悪くなりそう」20.9%、「面倒くさい」13.2%と続く。また、「特に障害はない」は30.0%となった。

年代別でみると、20代では「知識がない」「きっかけがない」5割台と高く、「家族関係が悪くなりそう」「面倒くさい」では全体より10ポイント以上高くなった。一方、60代以上では「特に障害はない」と考える人が57.7%と、どの年代よりも高い。全体に年代が若いほど、障害と考えている項目が多く、年代が高くなるにつれ障害と感じている項目は少なくなっている。

全体 Q. 相続について家族で話すことは「必要だと思う」と回答した人
相続の話をするとき障害になることはありますか？ (MA)
(n=750)



年代別 Q. 相続について家族で話すことは「必要だと思う」と回答した人
相続の話をするとき障害になることはありますか？ (MA)

	20代 (n=48)	30代 (n=243)	40代 (n=243)	50代 (n=138)	60代以上 (n=78)
知識がない	56.3	48.6	37.4	31.2	15.4
きっかけがない	50.0	39.5	23.5	29.7	9.0
家族関係が悪くなりそう	31.3	21.8	24.7	17.4	6.4
面倒くさい	25.0	15.2	10.3	14.5	6.4
相手がいやがる	18.8	11.5	14.4	8.7	5.1
時間がない	14.6	11.1	9.1	6.5	9.0
特に障害はない	12.5	19.3	28.8	41.3	57.7
その他	2.1	2.9	3.3	1.4	5.1

■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

“相続“について「情報を集めたことがある」28.7%。40代以上では3割台と多数派ではない

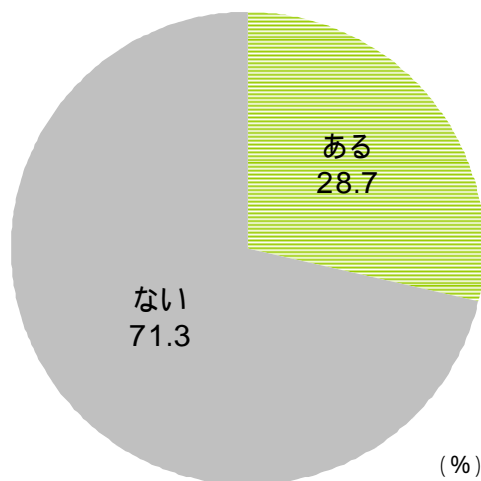
「相続」についての情報を集めたことがあるかを聞いたところ、「ある」28.7%、「ない」71.3%となった。

年代別でみると、20代・30代では、相続について情報を集めたことが「ある」人が約2割。年代が高くなるほど、相続について情報を集めたことが「ある」人の割合が増える傾向がみられ、40代になると3割台となるが、50代・60代以上になっても大きくは増えない。

全体

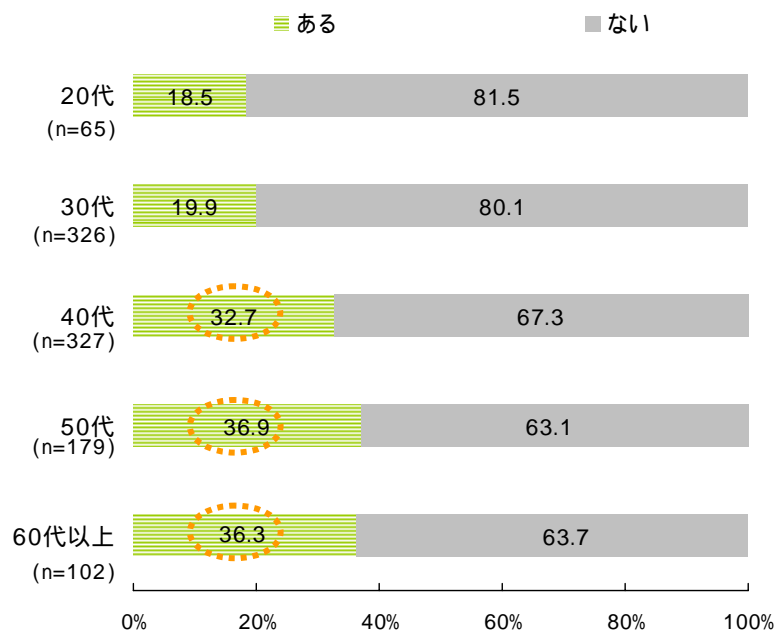
Q. 「相続」について、情報を集めたことがありますか？ (SA)

(n=999)



年代別

Q. 「相続」について、情報を集めたことがありますか？ (SA)



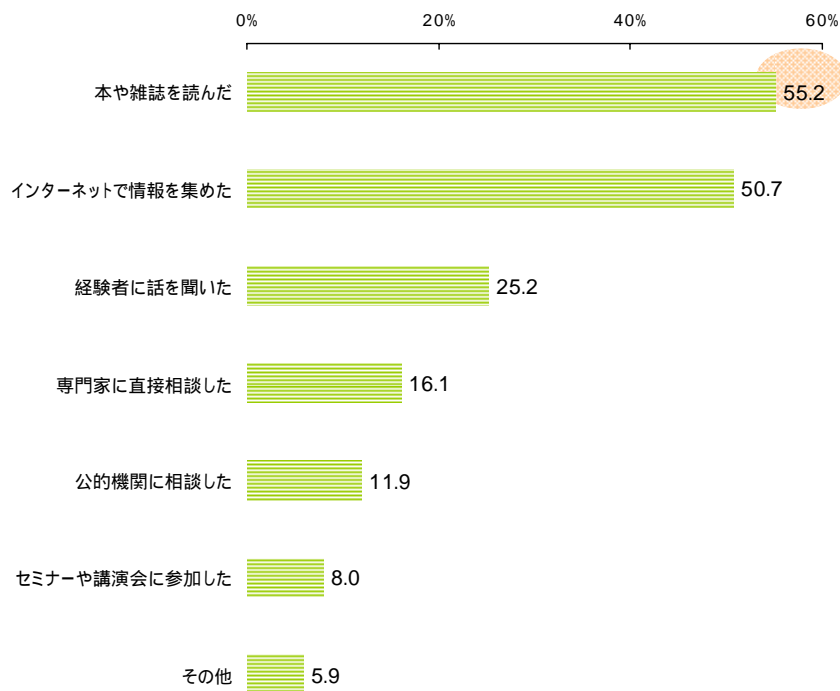
“相続“についての情報は「本や雑誌」「インターネット」から

「相続」について情報を集めたことが「ある」と回答した人に、どんなふうに情報を集めたかを聞くと、「本や雑誌を読んだ」が55.2%、「インターネットで情報を集めた」が50.7%と他の項目を大きく上回った。

どの年代においても「本や雑誌を読んだ」が最も高く、50代まででは「インターネットで情報を集めた」人が4～5割台となった。60代以上では、「公的機関に相談した」21.6%、「セミナーや講演会に参加した」24.3%と、他の年代と比べて高くなった。

全体

Q. 相続について情報を集めたことが「ある」人
どんなふうに行いましたか？ (MA)
(n=286)



年代別

Q. 相続について情報を集めたことが「ある」人
どんなふうに行いましたか？ (MA) 参考値

	20代 (n=12)	30代 (n=65)	40代 (n=106)	50代 (n=66)	60代以上 (n=37)
本や雑誌を読んだ	58.3	46.2	61.3	53.0	56.8
インターネットで情報を集めた	50.0	44.6	58.5	53.0	35.1
経験者に話を聞いた	16.7	29.2	26.4	24.2	18.9
専門家に直接相談した	16.7	10.8	19.8	15.2	16.2
公的機関に相談した	0.0	6.2	12.3	13.6	21.6
セミナーや講演会に参加した	8.3	6.2	6.6	3.0	24.3
その他	8.3	10.8	2.8	6.1	5.4

■ 全体より10ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上低い

今後は、“相続“についての情報は「インターネット」で集めたい

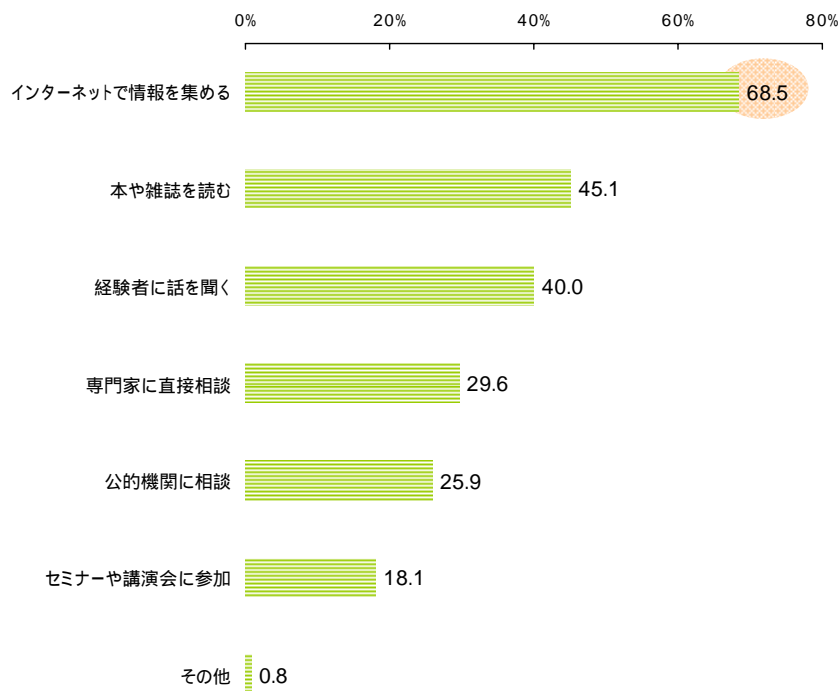
これから「相続」の情報を集めるとしたら、どんなふうに行いたいかを聞いたところ、「インターネットで情報を集める」が68.5%と圧倒的に多い。次いで「本や雑誌を読む」45.1%、「経験者に話を聞く」40.0%、「専門家に直接相談」29.6%となった。

年代別でみると、どの年代においても「インターネットで情報を集める」が最も高くなった。20代・30代では「経験者に話を聞く」が他の年代よりも多く、60代以上では「セミナーや講演会に参加」が29.4%と、どの年代よりも高くなった。

全体

Q. これから相続の情報を得るとしたら、
どんなふうに行いたいですか？ (MA)

(n=993)



年代別

Q. これから相続の情報を得るとしたら、
どんなふうに行いたいですか？ (MA)

	20代 (n=64)	30代 (n=323)	40代 (n=326)	50代 (n=178)	60代以上 (n=102)
インターネットで 情報を集める	68.8	72.8	68.7	65.7	58.8
本や雑誌を読む	45.3	48.0	42.6	47.2	40.2
経験者に話を聞く	48.4	46.4	38.3	36.5	25.5
専門家に直接相談	26.6	31.3	29.4	33.1	20.6
公的機関に相談	20.3	21.7	31.6	28.7	19.6
セミナーや講演会 に参加	17.2	13.3	19.3	18.5	29.4
その他	0.0	0.3	0.0	0.6	5.9

■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

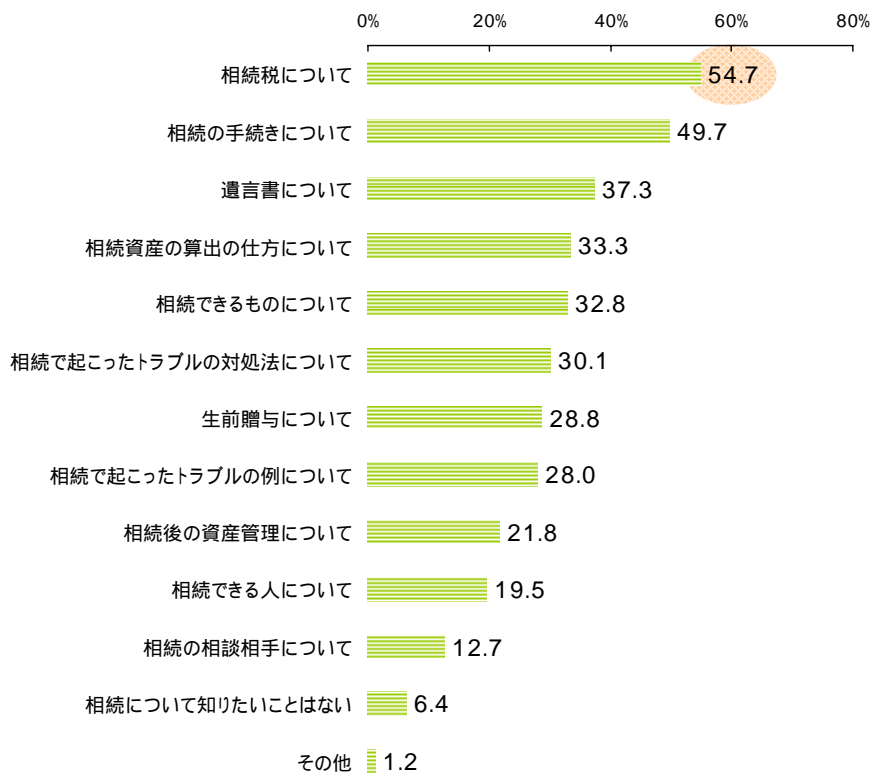
“相続“について知りたいことは「相続税について」「手続きについて」

「相続」について知りたいと思うことを聞くと、「相続税について」が54.7%と高く、次いで「相続の手続きについて」49.7%、「遺言書について」37.3%、「相続資産の算出の仕方について」33.3%と続く。

年代別でみると、特に20代・30代では「遺言書について」「相続できるものについて」「生前贈与について」「相続できる人について」の項目で関心が高くなった。全体に20代・30代では「相続」に関する全般的な知識を得たいと考えており、40代・50代では手続きや算出方法など具体的な問題に関心が高いようだ。

全体 Q. あなたが、「相続」について知りたいと思うことは？ (MA)

(n=995)



年代別 Q. あなたが、「相続」について知りたいと思うことは？ (MA)

	20代 (n=65)	30代 (n=324)	40代 (n=327)	50代 (n=178)	60代以上 (n=101)
相続税について	52.3	63.6	55.7	46.6	38.6
相続の手続きについて	58.5	53.4	51.7	44.9	34.7
遺言書について	49.2	42.9	33.3	34.8	28.7
相続資産の算出の仕方について	27.7	34.9	37.0	31.5	22.8
相続できるものについて	46.2	42.0	30.9	25.3	13.9
相続で起こった トラブルの対処法について	36.9	34.6	32.1	24.2	14.9
生前贈与について	46.2	37.7	21.4	21.3	26.7
相続で起こった トラブルの例について	35.4	31.5	30.3	21.3	16.8
相続後の資産管理について	30.8	25.0	20.8	19.1	13.9
相続できる人について	36.9	24.7	19.9	11.2	5.0
相続の相談相手について	21.5	14.2	14.1	9.6	3.0
相続について知りたいことはない	7.7	4.3	5.8	6.2	14.9
その他	0.0	0.6	0.9	2.8	2.0

■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

(フリーアンサーから抜粋)

【不安なこと】

- 遺言を親が書いてないと、色々もめそうで不安 (36歳/専業主婦・広島県)
- 現時点では問題ないが、今後介護などが必要になり、その後の相続となると配分にもめ事が出来そうで怖い (32歳/フルタイム・神奈川県)
- 今は兄弟仲が良くて相続でもめたりしそうにないが、いざ相続する段階になってお互いの配偶者などが口出ししたりしてもめる事にならないか心配 (41歳/専業主婦・千葉県)
- 相続税がどれくらいかかるのか心配です (35歳/専業主婦・福岡県)
- 会った事のない相続権のある方との話し合い (33歳/専業主婦・大阪府)
- 相続した不動産をどう活用するか (47歳/専業主婦・埼玉県)
- 相続人への分配をどの様にするか、後日にトラブルを起こさないようするにはどうするかが一番頭の痛いところです (69歳/専業主婦・兵庫県)
- 公正証書があってもすんなり遺言が成立しないこと (62歳/パートアルバイト・神奈川県)
- 些細な物であれ、お金が絡むと、兄弟げんかにならないかと心配 (59歳/専業主婦・埼玉県)
- 法律上の知識を含め、相続に関するルールを正確に理解していないので、何かにつけて不安を感じざるを得ない (55歳/専業主婦・千葉県)
- 再婚同士なので、夫の子供とは付き合いがないが、夫が死んだら連絡とかどうしようか？とか、少々心配 (55歳/専業主婦・愛媛県)

【疑問に思っていること】

- 最近、貯金とか本人確認が難しいですし、インターネット銀行の口座って、通帳がないだけに、それも、ちゃんと相続されるのかなど、いろいろあります。(32歳/フルタイム・神奈川県)
- 相続について、全てを任せられる公的窓口のような相談できる場所があるのかどうか (33歳/専業主婦・千葉県)
- 実際に介護をしたのに、相続には関係がなくなること (63歳/専業主婦・東京都)
- どうして、こんなに税金が高いのか！！ (57歳/専業主婦・兵庫県)

【知りたいこと】

- 相談料とか、かかる費用を知りたい (47歳/専業主婦・兵庫県)
- 夫は三人兄弟の長男ですが、親も二人の兄弟も借金があります。負債を残したまま親が他界した場合に、二人の兄弟は当然支払えないと思うと思います。我が家も子供が二人おり決して裕福ではないので、そういった場合は誰がその負債を背負うのか知りたいです (47歳/専業主婦・愛知県)
- 現金、土地、建物などのほかに、家財道具、着物、宝石などの相続ってあるの？ (41歳/パートアルバイト・神奈川県)
- 相続できるものは土地ぐらいだが、離れて暮らしている場合、どのように相続できるのか？ (41歳/専業主婦・東京都)
- 相続税が大きいと聞くので、生前に分与しておく方がいいのか？ (33歳/パートアルバイト・大阪府)
- 節税方法を知りたい (66歳/その他・神奈川県)
- 自分が住んでいる住宅、土地は減額になると聞いていますが、どの程度、減額になるのか？ (68歳/専業主婦・東京都)
- 子供がいないので死んだあとの財産がどうなるのか (42歳/専業主婦・福岡県)
- お金が絡む為、兄弟でもめると聞いています。スムーズにことをはこぶには手順がありますか？ (55歳/専業主婦・埼玉県)

夫婦どちらかでの“相続”経験者は 39.6%

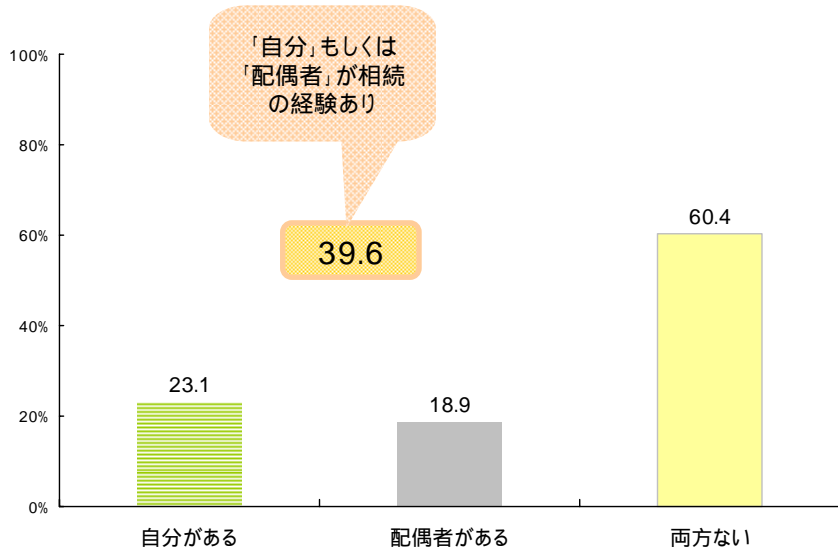
夫婦のどちらかに「相続」の経験があるかを聞いたところ、「自分がある」23.1%、「配偶者がある」18.9%で、相続の経験がある人は、39.6%となった。

年代別でみると、相続の経験は年代が高いほど多くなっており、20代では7.6%と1割未満のところ、50代では69.3%、60代以上では77.5%と、自分もしくは配偶者が相続を経験している。

全体

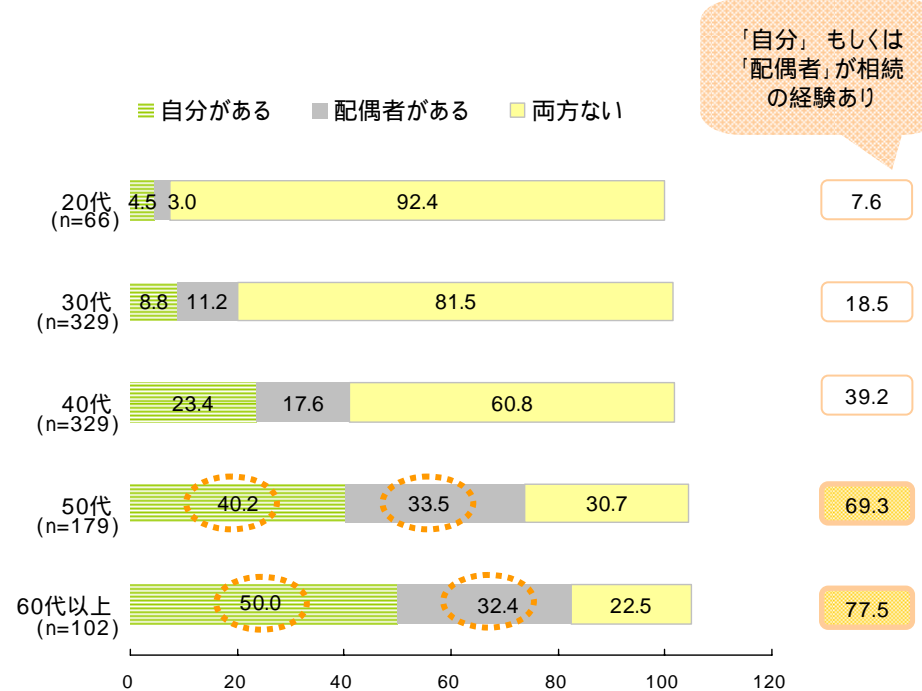
Q. ご夫婦のどちらか、相続の経験はありますか？ (MA)

(n=1005)



年代別

Q. ご夫婦のどちらか、相続の経験はありますか？ (MA)



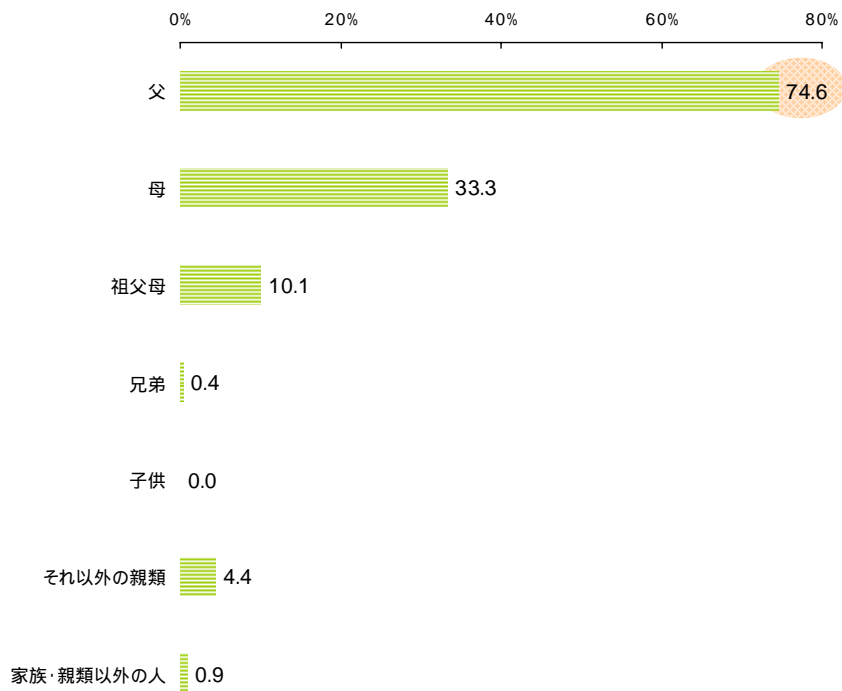
自身の“相続”は「父」から74.6%、「母」から 33.3%

相続の経験を「自分がある」と回答した人に、誰からの相続であったかを聞くと、「父」74.6%、次いで「母」33.3%、「祖父母」10.1%と続く。

年代別でみると、どの年代においても「父」が半数以上と高い。30代以上では、次いで「母」が高い。40代以上では「それ以外の親類」からの相続が、若干だが増える。

全体

Q. 相続の経験は「自分がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA)
(n=228)



年代別

Q. 相続の経験は「自分がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA) 参考値

	20代 (n=3)	30代 (n=29)	40代 (n=77)	50代 (n=69)	60代以上 (n=50)
父	66.7	58.6	76.6	85.5	66.0
母	0.0	31.0	24.7	29.0	56.0
祖父母	33.3	20.7	10.4	7.2	6.0
兄弟	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
子供	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
それ以外の親類	0.0	0.0	5.2	4.3	6.0
家族・親類以外の人	0.0	0.0	1.3	1.4	0.0

■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

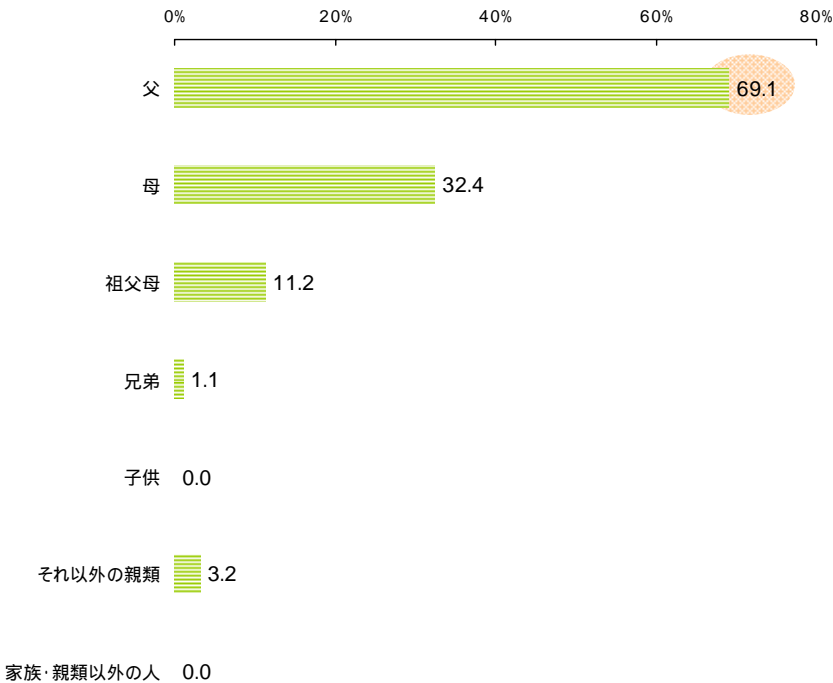
配偶者の“相続”は「父」から69.1%、「母」から 32.4%

相続の経験を「配偶者がある」と回答した人に、誰からの相続であったかを聞くと、「父」69.1%、次いで「母」32.4%、「祖父母」11.2%と続く。

年代別でみると、どの年代においても「父」が半数以上と高い。30代以上では、次いで、「母」が高い。40代以上では「それ以外の親類」からの相続が、若干だが増えると、「自分の相続」状況と大きな差はない。

全体

Q. 相続の経験は「配偶者がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA)
(n=188)



年代別

Q. 相続の経験は「配偶者がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA) 参考値

	20代 (n=2)	30代 (n=36)	40代 (n=58)	50代 (n=60)	60代以上 (n=32)
父	50.0	61.1	60.3	85.0	65.6
母	0.0	27.8	37.9	26.7	40.6
祖父母	50.0	22.2	17.2	1.7	3.1
兄弟	0.0	2.8	1.7	0.0	0.0
子供	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
それ以外の親類	0.0	0.0	1.7	1.7	12.5
家族・親類以外の人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

3. 相続の経験について - 1 相続で困ったこと・大変だったことがあったか

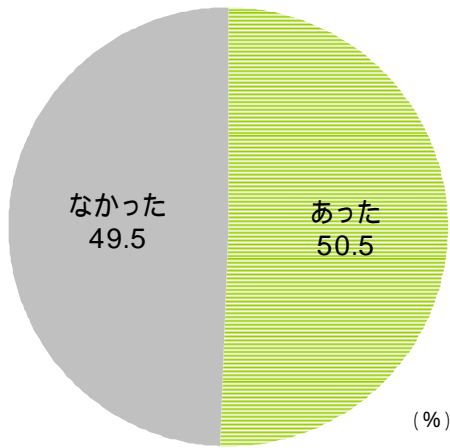
“相続”で困ったこと・大変だったことが「あった」50.5%

自分が配偶者に相続の経験がある人に「相続で困ったこと・大変だったこと」があるかを聞いたところ、「あった」と回答した人は、50.5%。

年代別でみると、30代・40代では「あった」と回答した人は、5割台。50代以上では4割台とわずかに減少した。

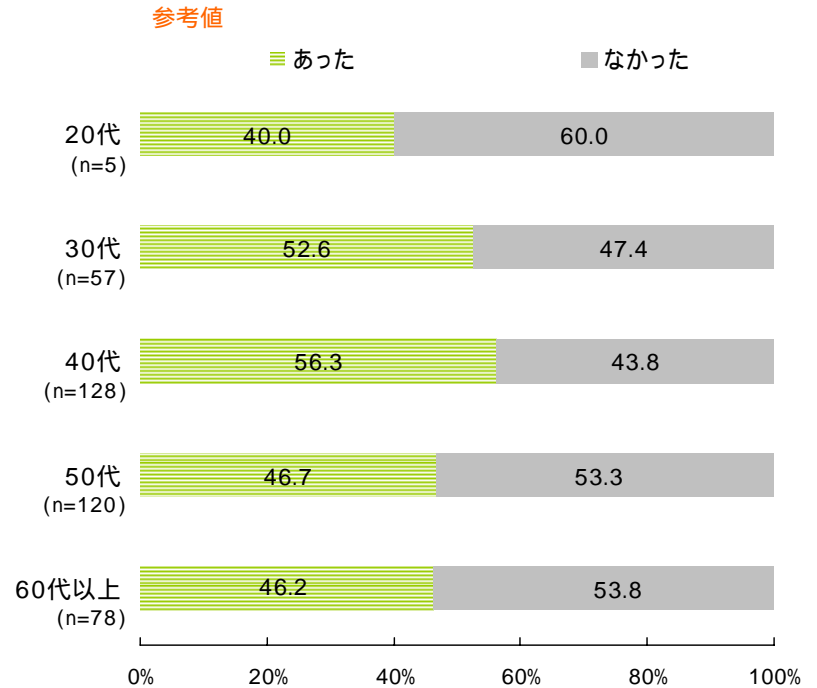
全体

Q. 自分が配偶者に相続の経験のある人
相続で困ったこと・大変だったことはありますか？ (SA)
(n=388)



年代別

Q. 自分が配偶者に相続の経験のある人
相続で困ったこと・大変だったことはありますか？ (SA)



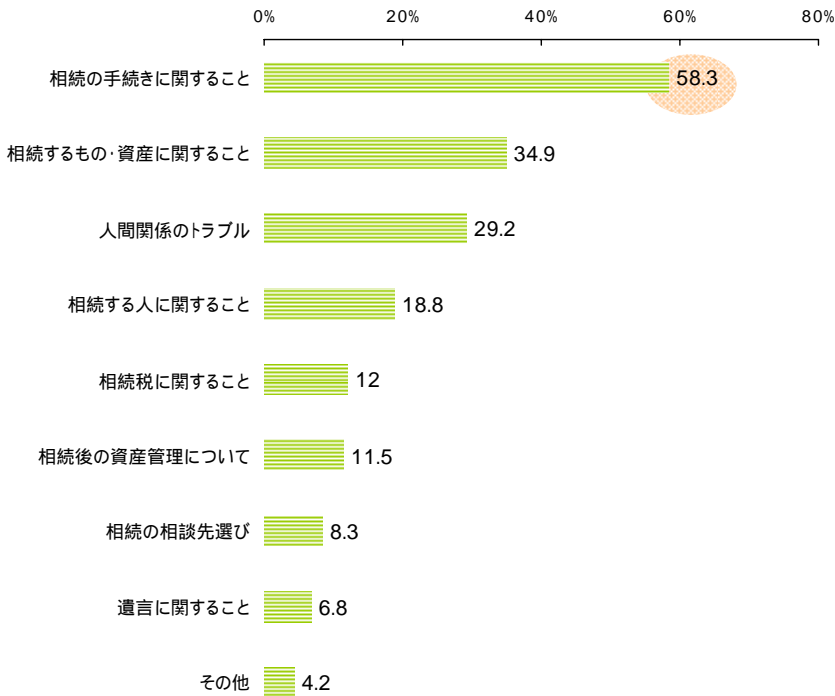
“相続”で困った・大変だったのは、「相続の手続きに関すること」58.3%

相続で困ったこと・大変だったことが「あった」と回答した人に、どんなことだったかを聞くと、「相続の手続きに関すること」が58.3%と最も多い。次いで「相続するもの・資産に関すること」34.9%、「人間関係のトラブル」29.2%、「相続人に関すること」18.8%と続く。

年代別でみると、どの年代においても「相続の手続きに関すること」「相続するもの・資産に関すること」で高くなった。また、30代以上では「人間関係のトラブル」が2～3割台、「相続する人に関すること」が1～2割台となっている。60代以上では、「相続後の資産管理について」「遺言に関すること」で他の年代よりも高くなった。

全体

Q. 相続で困ったこと・大変だったことが「あった」と回答した人
どんなことでしたか？ (MA)
(n=192)



年代別

Q. 相続で困ったこと・大変だったことが「あった」と回答した人
どんなことでしたか？ (MA)
参考値

	20代 (n=2)	30代 (n=28)	40代 (n=70)	50代 (n=56)	60代以上 (n=36)
相続の手続きに関すること	100.0	60.7	67.1	53.6	44.4
相続するもの・資産に関すること	50.0	35.7	30.0	33.9	44.4
人間関係のトラブル	0.0	32.1	21.4	33.9	36.1
相続する人に関すること	0.0	28.6	14.3	16.1	25.0
相続税に関すること	0.0	17.9	12.9	10.7	8.3
相続後の資産管理について	0.0	10.7	11.4	8.9	16.7
相続の相談先選び	0.0	10.7	11.4	8.9	0.0
遺言に関すること	0.0	3.6	1.4	10.7	13.9
その他	0.0	3.6	5.7	3.6	2.8

■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

【こんな事態に困った！】 (フリーアンサーから抜粋)

- 生前は知らなかった借金が出てきたため、驚いたし、大変だった (49歳/パート・アルバイト・埼玉県)
- 急死だったため、相続財産関係の書類などの保管場所が分からず、なかなか相続財産のリストを作ることが出来なかった (50歳/専業主婦・埼玉県)
- いろいろな手続きに必要な書類を集めること。相続人がみんな違う県に住んでいることもあり書類を郵送したりするのも時間がかかった (33歳/専業主婦・千葉県)
- 名義変更するのに、いろいろ書類をそろえたり、提出するのに大変だった (45歳/専業主婦・神奈川県)
- 遺言書が49日目に出てきて予想外の内容だった (61歳/専業主婦・岡山県)
- 株・土地・ゴルフ権など、種類が多くて大変だった。父が管理していたので、すべてを把握するのが大変だった。また、土地が売れないなど、処分し分けることが出来ないものもあった (46歳/専業主婦・京都府)
- 兄弟の間で等分に分配しようとしたが、長兄と他の兄弟との間でもめた (56歳/専業主婦・愛知県)
- 相続権の放棄についての手続き。相続権のある人が口頭で「いらない」とおっしゃるが法的手続きが大変で相談先も分からず困りました (33歳/専業主婦・大阪府)
- 兄同士が土地の相続で裁判になりました。夫は巻き込まれたくないので相続放棄を選びました (61歳/専業主婦・福岡県)
- 相続を放棄してほしいといわれ、印鑑証明などの書類を用意してと頼まれたが、手数料を負担したあげく、財産まで手に入らなかったのも、すごく損した気分になりました (37歳/専業主婦・大阪府)
- 戸籍関係の書類を本籍地から取り寄せるため郵便代、為替手数料、速達代など思わぬ出費が重なった。印鑑や署名が必要なため、相続人全員がそろうまで月日がかかった (49歳/専業主婦・千葉県)
- 不動産の相続があったが、実際固定資産税だけがかかり、評価額も高い地所だったので、相続税が持ち出しになった (42歳/パート・アルバイト・大阪府)
- 父が亡くなった時、まだ若かった母の今後の為に全額母に相続することで兄弟の意見が一致したが、一人納得しなかった兄弟がその後顔を見せなくなってしまった (41歳/専業主婦・千葉県)
- 義母の代わりに葬儀から始まり全ての手配をやった。義父の年金が複数あったのでその手続きに時間がかかった。またその後の生活で義母が誰と同居するかという件が大変だった。(55歳/その他・神奈川県)
- 相続人の中に自分だけが相続の権利があるというようなことを言う人間がいて、結局3年たった今でも手続きが取れなくて困っている。(32歳/専業主婦・愛知県)

夫婦どちらかでの“生前贈与”を受けた経験は 12.6%

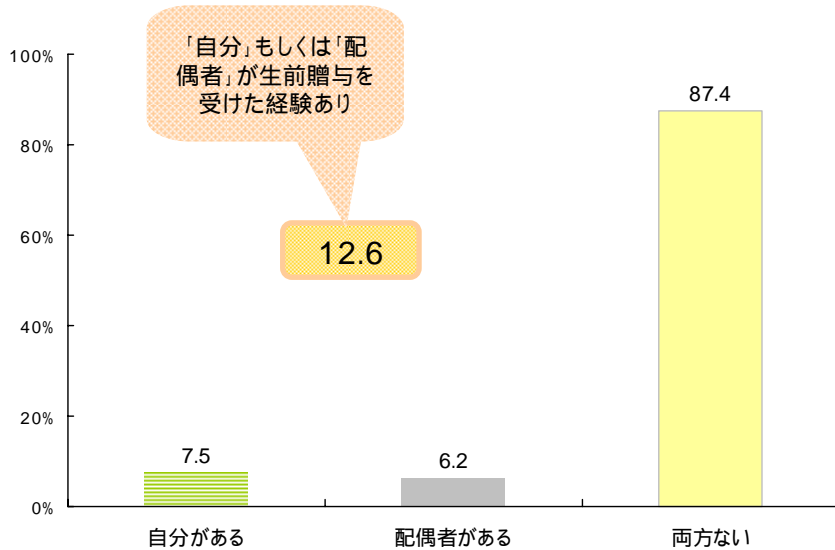
夫婦のどちらかに「生前贈与」を受けた経験があるかを聞いたところ、「自分がある」7.5%、「配偶者がある」6.2%で、「自分」もしくは「配偶者」に生前贈与を受けた経験がある人は、12.6%となった。

年代別でみると、生前贈与を受けた経験は20代・30代では1割未満、40代以上で1割台となった。

全体

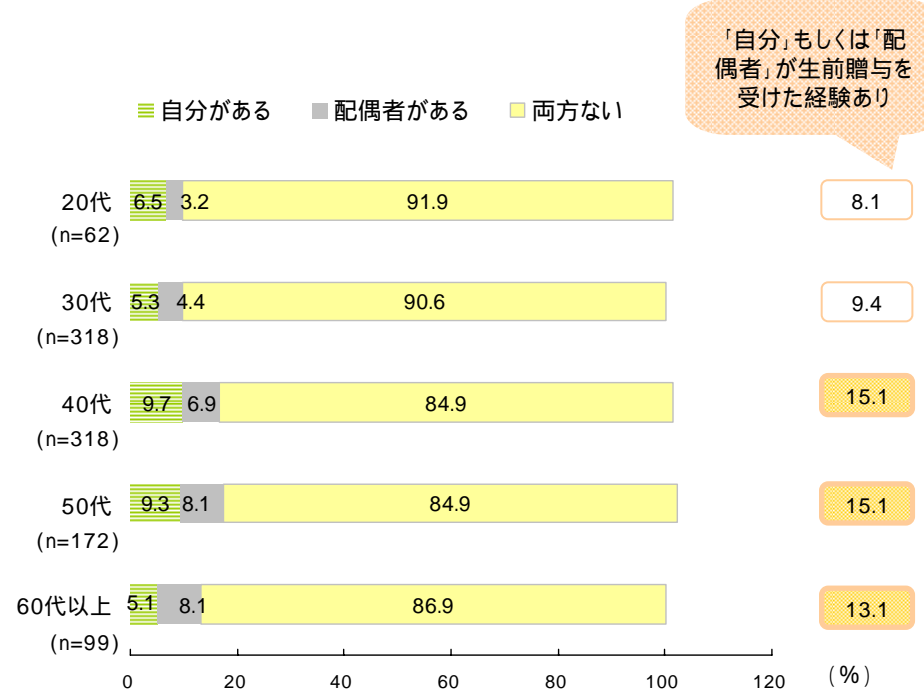
Q. ご夫婦のどちらか、生前贈与を受けた経験はありますか？（MA）

(n=969)



年代別

Q. ご夫婦のどちらか、生前贈与を受けた経験はありますか？（MA）



「自分」もしくは「配偶者」が生前贈与を受けた経験あり

4. 生前贈与の経験について - 1 誰から贈与を受けたか (自分の場合)

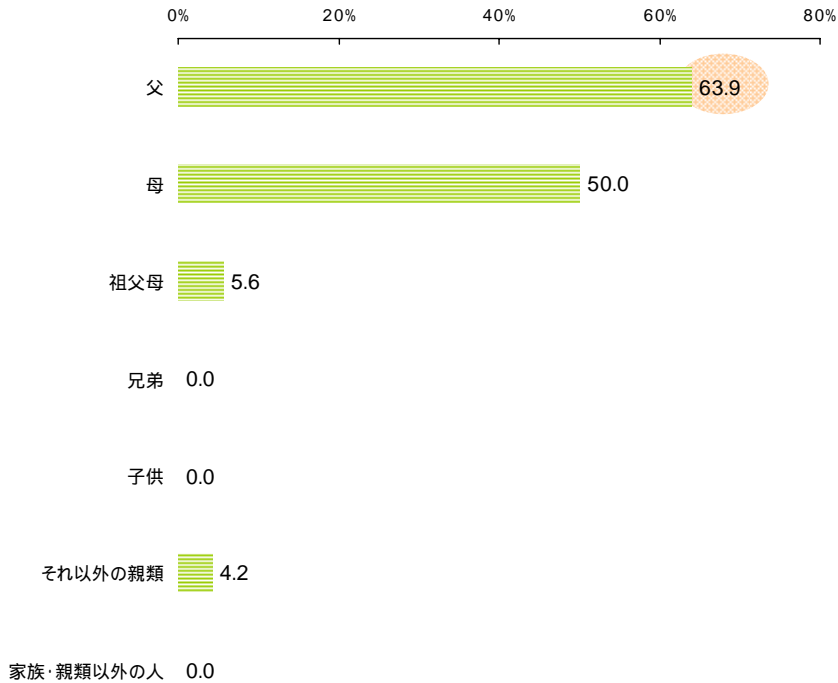
自身が受けた“生前贈与”は「父」から63.9%、「母」から 50.0%

生前贈与の経験を「自分がある」と回答した人に、誰からの相続であったかを聞くと、「父」63.9%、次いで「母」50.0%、「祖父母」5.6%と続く。

年代別では回答者が少数につき参考値となるが、どの年代においても「父」が半数以上と高い。次いで、「母」が高い。

全体

Q. 生前贈与を受けた経験は「自分がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA)
(n=72)



年代別

Q. 生前贈与を受けた経験は「自分がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA) 参考値

	20代 (n=4)	30代 (n=17)	40代 (n=31)	50代 (n=15)	60代以上 (n=5)
父	75.0	64.7	67.7	53.3	60.0
母	25.0	64.7	54.8	40.0	20.0
祖父母	0.0	11.8	0.0	6.7	20.0
兄弟	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子供	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
それ以外の親類	0.0	0.0	3.2	13.3	0.0
家族・親類以外の人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

4. 生前贈与の経験について -2 誰から贈与を受けたか (配偶者の場合)

配偶者の“生前贈与”は「父」から63.3%、「母」から 33.3%

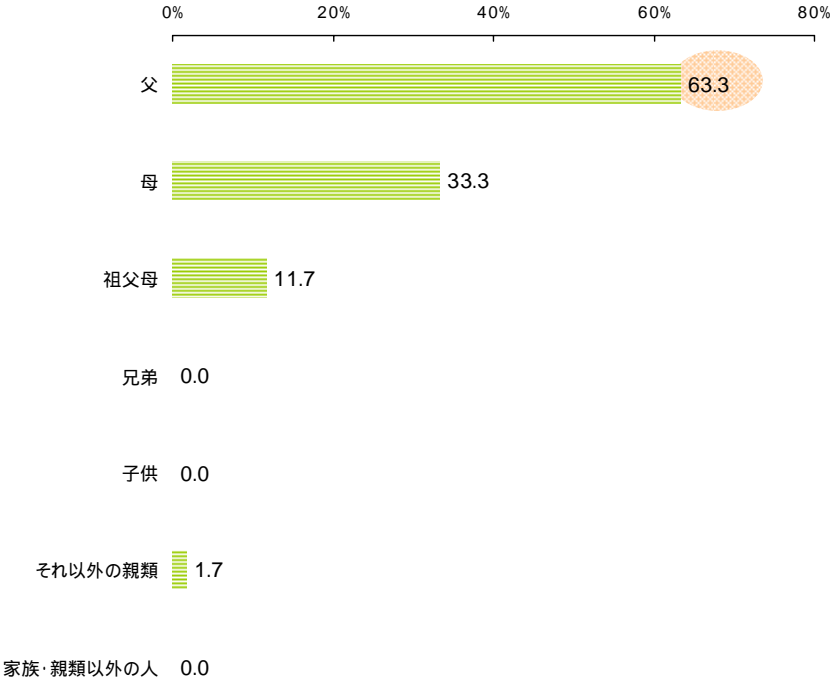
生前贈与の経験を「配偶者がある」と回答した人に、誰からの相続であったかを聞くと、「父」63.3%、次いで「母」33.3%、「祖父母」11.7%と続く。

年代別では回答者が少数につき参考値となるが、どの年代においても「父」が半数以上と高い。次いで、「母」が高い。

全体

Q. 生前贈与を受けた経験は「配偶者がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA)

(n=60)



年代別

Q. 生前贈与を受けた経験は「配偶者がある」と回答した人
どなたからの相続でしたか？ (MA) 参考値

	20代 (n=2)	30代 (n=14)	40代 (n=22)	50代 (n=14)	60代以上 (n=8)
父	100.0	50.0	68.2	78.6	37.5
母	0.0	35.7	27.3	28.6	62.5
祖父母	0.0	21.4	9.1	7.1	12.5
兄弟	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子供	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
それ以外の親類	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
家族・親類以外の人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 全体より10ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上低い

子供への“生前贈与”経験者は 3.4%

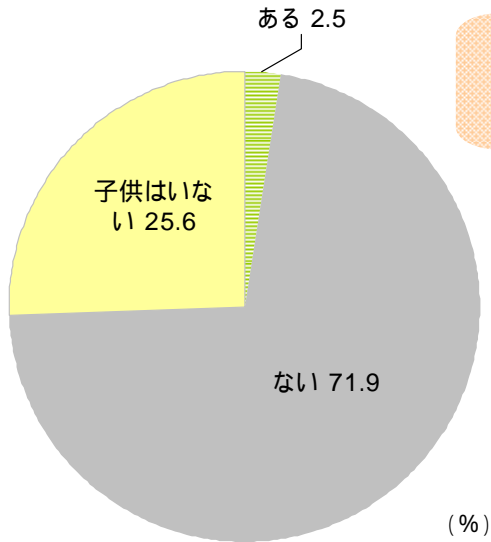
子供への生前贈与の経験があるかを聞いたところ、「ある」2.5%、「ない」71.9%となった。

年代別でみると、どの年代においても生前贈与の経験は1割未満となった。

全体

Q. 自分の子供に、生前贈与をした経験はありますか？ (SA)

(n=989)



子供がいる人のみの「生前贈与」の経験ありの割合

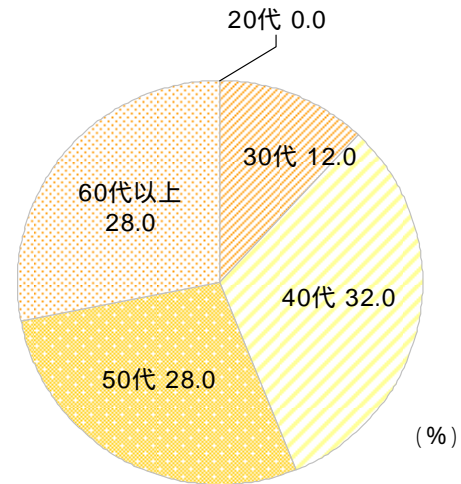
3.4

年代別

Q. 自分の子供に、生前贈与をした経験はありますか？ (SA)

(n=25)

“生前贈与”経験者の年代内訳



子供がいる人のみの「生前贈与」の経験ありの割合

- (20代) 0.0
- (30代) 1.3
- (40代) 3.5
- (50代) 4.7
- (60代以上) 7.5

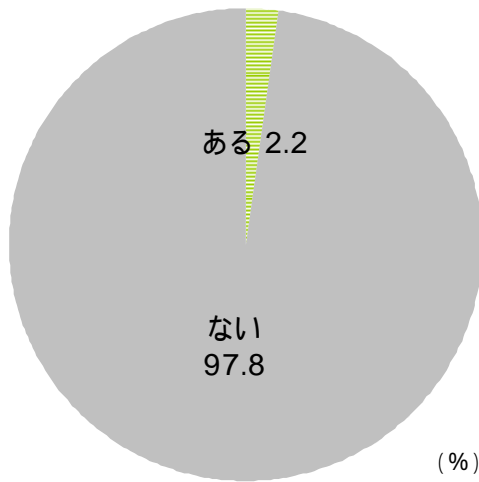
正式な“遺言状“を作ったことが「ある」2.2%

正式な「遺言状」を作ったことがあるかを聞いたところ、「ある」2.2%、「ない」97.8%と、遺言状を作ったことのない人が圧倒的であった。

年代別でも、その割合はほとんど変わらない。

全体

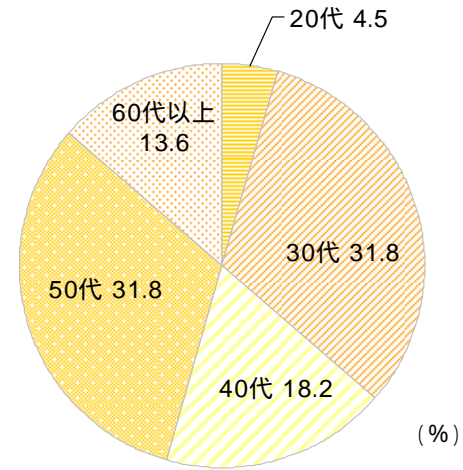
Q. あなたは、正式な遺言状を作った経験がありますか？ (SA)
(n=990)



年代別

Q. あなたは、正式な遺言状を作った経験がありますか？ (SA)
(n=22)

“遺言状“作成経験者の年代内訳



遺言について... (フリーアンサーから抜粋)

【疑問に思っていること】

いつ頃どのようなものを用意すべきか (46歳/フルタイム・神奈川県)

効力の有無で争われることが多い一方、書くのはすごく簡単という話も聞いたことがあるので、どのように残すべきなのかが知りたいです (35歳/専業主婦・千葉県)

正式な遺言書は弁護士のサインが必要と言われますが、弁護士を通さずにできて、皆が納得する遺言書は作れませんか? (27歳/専業主婦・香川県)

相続の総額が少なくても、専門家に依頼して手続きしないと通用しないものか? (60歳/専業主婦・大阪府)

たとえば、兄妹がいたとして、お墓の面倒を見る方と、見ない方の相続額の差をつけてあげるにはどうしたらいいのか (36歳/パートアルバイト・北海道)

【心配や不安に感じていること】

自分で勉強をして遺言書を作成して保持しているものの、それが間違っていないか、法的に効力を発揮するのかどうか不安である (29歳/パートアルバイト・和歌山県)

お金の問題だけでなく、葬儀や所有物の後処理まで、どこまで託せる物か。又、遺言しても本当に守られるものなのだろうか、不安 (32歳/フルタイム・神奈川県)

専門家に相談したいのですが費用がどのくらいかかるか不安です (44歳/専業主婦・宮城県)

ビデオレターは無効だとテレビでやっていたので知っているが、日付や封など有効な遺言書と無効なものとの境目がわからず知識がないことを不安に感じる (32歳/専業主婦・兵庫県)

母の遺言の作成を手伝いしましたが、母の思いと法律の効力が違う事 (49歳/パートアルバイト・千葉県)

どういう形で遺言を残せば、有効になるのか、はっきりわからないので不安です (36歳/専業主婦・千葉県)